

## 第3回 那覇空港技術検討委員会

# 構想段階PIの活動結果について

平成21年3月9日

内閣府 沖縄総合事務局

国土交通省 大阪航空局

# 1. 構想段階PIの活動内容

## 1 構想段階における検討内容

構想段階では、複数の選択肢から滑走路の概ねの位置、方位、規模等の基本的な諸元について検討し、一つの候補地を選定します。

## 2 構想段階PIの活動内容

滑走路増設の検討内容については、構想段階PIを通じて、県民等へ情報提供及び意見収集を行いました。PI実施期間は、約8週間（平成20年12月15日～平成21年2月6日）。

なお、構想段階PIでは、調査段階での経験等を踏まえ、様々な方法により情報提供を行い、多くの県民等から意見を収集することができました。

### ■ 構想段階PI活動の実績

項目		実績
実施期間		平成20年12月15日～平成21年2月6日
情報提供・意見収集(手法)	説明会・懇談会	35回
	パネル展示	6ヶ所・延べ121日
	オープンハウス	30ヶ所・延べ190日間
	シンポジウム	1回
	ホームページ	実施期間中に専用ページを開設・公開 また、PI実施前の段階においても、技術検討委員会の検討資料等を掲載するとともに、技術検討に関し意見を募集するなど、構想段階検討期間中を通じて情報提供、意見収集に努めた。
事前周知・広報	テレビ・ラジオ	行政テレビ・ラジオの活用
	新聞	県内主要紙への広報掲載
	行政広報誌	沖総局・沖縄県・県内16市町村の広報誌
	ホームページ	実施期間中に専用ページを開設・公開

# 1. 構想段階PIの活動内容

## ■ 構想段階 P I の活動状況



構想段階 P I 開始式  
(県庁前広場)



オープンハウス  
(那覇空港ウェルカムホール)



シンポジウム



パネル展示  
(モノレール小祿駅)



一般説明会  
(糸満市)



懇談会  
(地域住民)



## 2. 構想段階PIの実施結果 – 県民等の参加状況(参加者等の数)

- オープンハウス等イベントには、9,692人の県民等が参加し、構想段階PI全体としては、アンケート葉書、説明会やHPを通じて18,025人の方から回答いただきました。
- これらの中、13,364人の方(7割以上)が自由意見欄(設問4・5)に回答を寄せており、説明会等を含めると、13,531人の県民等から意見を収集している。寄せられた意見の総数は、27,543件となりました。

※構想段階PIでは、「構想段階PIのためのレポート」(以下、「PIレポート」という。)の内容に対する意見を求めるためのアンケート葉書をPIレポートに添付して配布するとともにHPでも同様な内容で意見を求めました。

### ■ 構想段階PIの参加者数等の実績

実施内容	実績
PIレポート配布	87,643部
レポート	86,549部
詳細版	1,094部
イベント	9,692人
説明会・懇談会	1,267人
オープンハウス	8,228人
シンポジウム	197人
ホームページ	11,005件

### ■ 構想段階PIで収集した意見等

実施内容	実績
アンケート葉書やHPで回答を寄せられた方	18,025人
そのうち、意見を寄せた方	13,531人
	内訳 ハガキ・HP 13,364人 説明会等 167人
意見総数	27,543件
上記意見のうち、技術的検討に対する意見数	7,186件

## 2. 構想段階PIの実施結果 – アンケート葉書の設問内容

### 1. 調査票にご記入くださる方、ご自身についてお答え下さい。

■住所 ■性別 ■年齢 ■職業

### 2. 那覇空港の将来対応方策に関する調査についてお答え下さい。

①「那覇空港の将来対応方策に関する調査」を実施していることを、いつ知りましたか。

【選択肢】・今回知った ・PIステップ3(昨年) ・PIステップ2(一昨年)  
・PIステップ1(3年前) ・それ以前から知っていた

②これまでのPIアンケートに回答したことがありますか。

【選択肢】・ある(PIステップ3) ・ある(PIステップ2)  
・ある(PIステップ1) ・ない

③現在、PIを実施していることを何で知りましたか。

【選択肢】・広告(新聞等) ・周囲の人から ・報道(テレビニュース、新聞等) ・ポスター ・雑誌(県、市町村広報誌等も含む) ・インターネット ・「PIのためのレポート」の入手場所 ・その他( )

### 3. 那覇空港の構想段階の検討についてお答えください。

【A】理解できた 【B】ある程度理解できた

【C】あまり理解できなかった 【D】理解できなかった

①構想段階は、那覇空港の増設滑走路の概ねの位置・形状を決定する段階であること。【A B C D】

②本アンケートは、PIの一環として実施しており、この意見が参考となり、増設滑走路の位置が決定されること。【A B C D】

③最新の手法及びデータを用いた需要予測により、施設の必要規模等を検討した内容。【A B C D】

④実際の運用及び那覇空港周辺空域の現状を踏まえ空港能力について検討した内容。【A B C D】

⑤総合的な調査で提示した3案を基本としつつ、自然環境、社会環境への影響低減、コスト縮減等の観点から、滑走路増設の最適な配置位置について検討した内容。【A B C D】

⑥那覇空港周辺市等から、瀬長島改変への反対、大嶺崎にある拝所等への配慮、騒音問題の改善要請について、要望等が出されていること。【A B C D】

⑦瀬長島の改変が生じる配置案については、地元の合意を得るのが困難として構想段階検討から除いたこと。【A B C D】

⑧那覇空港の特徴を踏まえ、多様な観点から評価項目を検討した内容。【A B C D】

⑨現滑走路と増設滑走路の間隔が異なる2案について比較評価した結果。【A B C D】

### 4. 増設滑走路2案(A案・B案)についてどう思いますか。

<記述スペース>

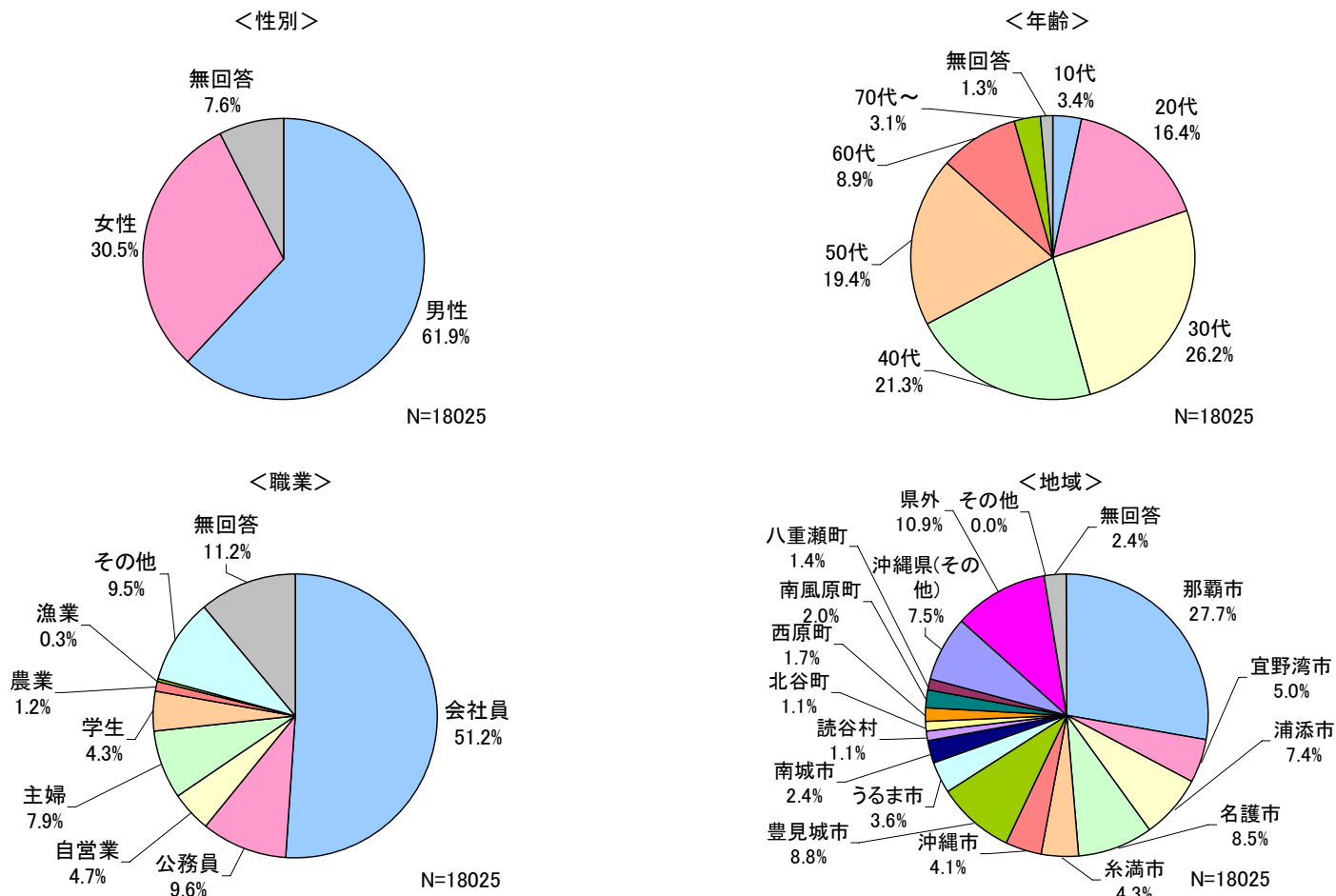
### 5. その他(滑走路増設や)PIなど、何でも気づいたことを教えてください

<記述スペース>

# ①県民等の参加状況(参加者の内訳)

- アンケート葉書やHPを通じて、幅広い年齢、様々な職業、広範な地域の方々に回答していただきました。
- この結果、幅広い県民等からP Iレポートに対する意見を収集することができました。

## ■アンケートハガキやHPへの回答者の構成(18,025票の集計結果)

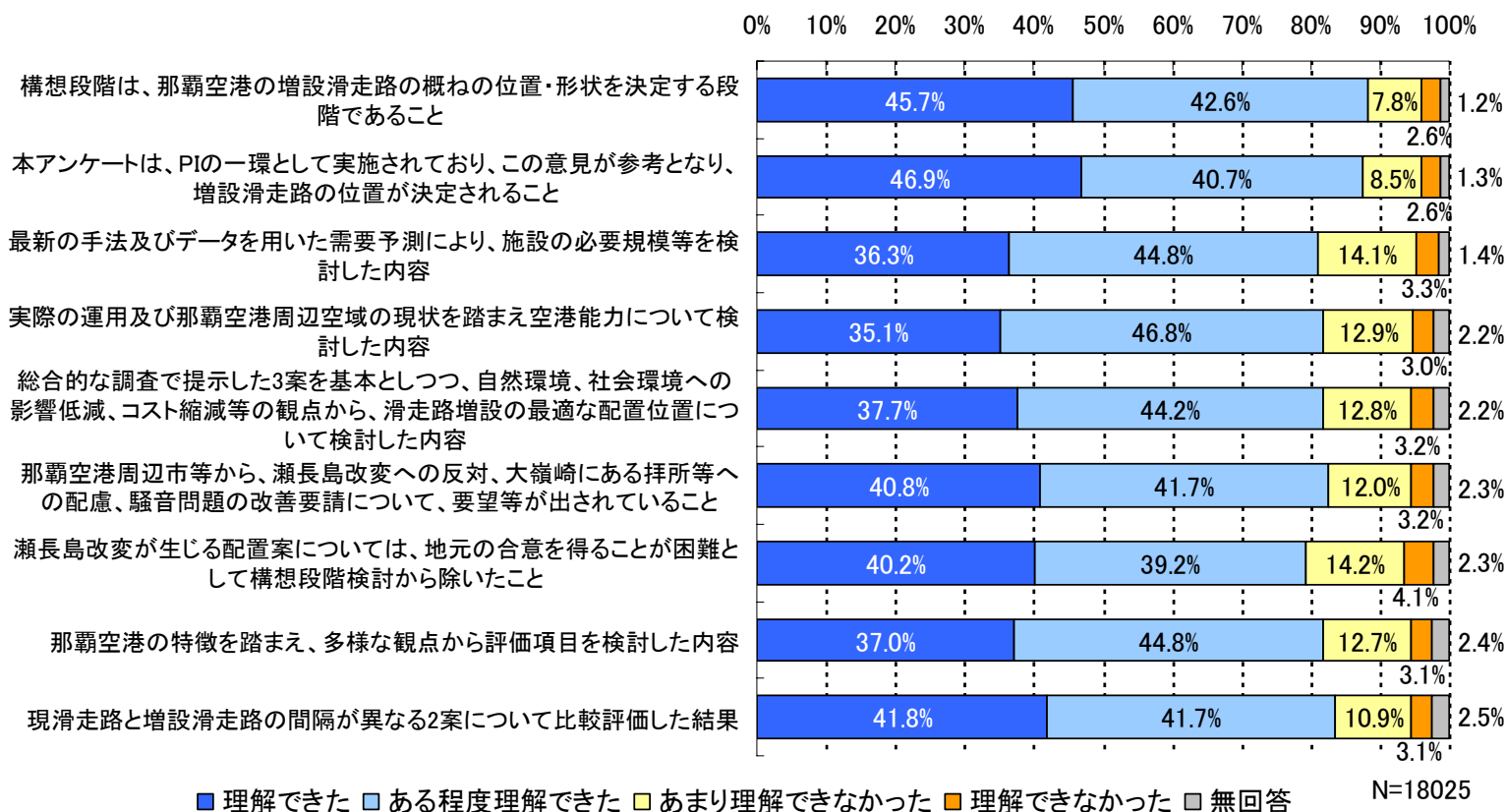


## ② 構想段階PIで提供した情報の理解度

- アンケートハガキやHPを通じて、PIレポートで提供した構想段階の検討結果（9項目）の理解度について調査を行いました
- 調査結果は、約8割以上の方が「理解できた」または「ある程度理解できた」と回答しており、PIレポートで提供した検討結果について概ね理解が得られたものと考えています。

### ■ PIレポートに対する理解度（18,025票の集計結果）

<理解度>





## ③寄せられたご意見（関係行政機関）

### ○沖縄県市議会議長会からの要望決議 平成20年11月28日

・那覇空港は、沖縄県のリーディング産業である観光・リゾート産業を支えるとともに、県民生活や経済活動を支える重要な社会基盤であり、国際交流・協力拠点形成に欠かせない重要な中核施設である。

・要望は以下のとおり

・1,310m案は、2本の滑走路をそれぞれ同時に離陸と着陸を管制できるため空港能力が最も拡大すると

ともに、航空機騒音の低減、周辺地域への配慮等から適切である。

・那覇空港拡張整備については、1,310m案をもって早期の整備を実現して欲しい。

### ○近隣市（那覇市長、糸満市長、豊見城市長）からの共同声明、平成20年12月24日

・滑走路増設2案の位置決定にあたっては、地域住民の安全と安心を確保するとともに、良好な自然、文化環境及び、生活環境への十分な配慮が必要。

・近隣市からの要望は以下のとおり

・現滑走路より1310メートル以上沖合いへ早期整備すること。

・拡張整備にあたっては、騒音の発生源対策を講じるとともに、航空機騒音の軽減に努めること

・拡張整備においては、地域住民に十分な説明・情報提供を行い、理解を求めること。

### ○沖縄県市長会からの要望決議 平成21年2月20日

・第2滑走路は、代替機能確保面からも非常に重要な施設であり、那覇空港の拡張については、100年先の沖縄の将来発展をも展望しなければならない。

・要望は以下のとおり

・増設滑走路と現滑走路の離隔距離を1,310m以上確保し、早期に整備すること

・事業実施にあたっては、環境や漁業などへの影響にも十分配慮すること

・空港周辺の住民に十分な説明を行うとともに、最大限の情報提供を行い理解を求めること。

## ③寄せられたご意見（関係行政機関）

### ○環境省からの意見 平成21年2月6日

- ・ 構想段階では、「公共事業の構想段階における計画策定プロセスガイドライン」等の趣旨を踏まえ、PIの手法を取り入れつつ検討が進められており、「戦略的環境アセスメント導入ガイドライン」に基づく戦略的アセスメント(SEA)を含むものと評価。
- ・ 環境に対する影響についても構想段階としては相当具体的な調査・予測・検討が行われており、提示された滑走路増設案について、サンゴ、藻場、干潟などの自然環境の消失や潮流の変化、航空機騒音の改善等の環境影響を十分具体的に把握、比較検討されていると評価。
- ・ 滑走路増設案の選定に当たっては、既に具体的に把握、比較検討されている環境影響のうち、特に那覇空港周辺の自然環境、生態系、閉鎖海域の水質、航空機騒音等に留意することが重要。
- ・ 今後、事業が実施されることとなった場合には、構想段階において十分な意見聴取が終了していることを踏まえ、既に具体的に把握、検討されている環境配慮事項のうち、特に上記の環境配慮事項について留意されることが望ましい。

### ○沖縄県町村議会議長会からの要望決議 平成21年2月23日

- ・ 第2滑走路は、代替機能確保面からも非常に重要な施設であり、那覇空港の拡張については、100年先の沖縄の将来発展をも展望しなければならない。
- ・ 要望は以下のとおり
  - ・ 増設滑走路と現滑走路の離隔距離を1,310m以上確保し早期に整備すること
  - ・ 事業実施にあたっては、漁業などへの影響にも十分配慮すること